

### まきストーブの設置に支援を

**Q** 再生可能エネルギーの利用を進めるためにまきストーブ設置に対し、補助をすべきでないか。  
**A** バイオマス利活用推進協議会で検討していきたい。



薪ストーブ

### 農業施策について

**Q** 外食・業務用米の需要が激減している。家庭用米も需要量減少が続くもとで、米価が下落した。米は国民の主食である。JA等と協力し国に米価の安定を求めていくべきではないか。  
**A** 米政策は国の施策であるが、JAや

関係団体と情報を共有し対策を考えていきたい。

**Q** 米の検査制度見直しで政府の規制改革推進会議が始まっている。需給調整の仕組みを維持しているのが検査制度であると思うが、どう考えるか。  
**A** さまざまな意見がある中、動きを注視していきたい。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**Q** 売上減少が前年比50%未満の事業所にも支援金を給付すべきではないか。  
**A** 一律給付というよりは、それぞれの事業者ごとに住民税減免や、固定費等を支援している。

**Q** 少人数学級を促進すべきでないか。市内では、ほぼ35人以下学級で編成している。今後も県に教職員の定数増員を求めていく。  
**A** 申請件数は4件で支給決定は1件。制度の周知を図っている。

### 高齢者の健康と見守りについて

**Q** 住み慣れた地域で安心して暮らせるために、地域の集いをどのように考えているか。見守りサービスはどのように募集しているか。  
**A** さんちゃん健康サークルなど地域の場として市が支援している。高齢者の見守りはセカンドライフ応援ステーションにお願いしている。

### 新型コロナウイルス感染症

**Q** 市の交代制勤務の検証と今後の方向性について問う。  
**A** 影響はあったが市民の理解で問題はなかった。多様な働き方という観点からも今後検討を進める。

### 公共施設再配置計画

**Q** 地域への譲渡や廃止・解体を検討する施設の進捗を問う。  
**A** 名下多目的集会所は調整中。相互理解と合意形成が重要と考える。

### 無電柱化の推進について

**Q** 国交省も積極的に無電柱化を進めており、令和2年新規補助制度として、概要が示されているが、今までと大きく変わっている点と、これに対する三条市の姿勢はどうか。  
**A** 新規補助制度については、地方公共団体が策定した無電柱化推進計画に基づく事業を計画的かつ集中的に支援するための個別補助制度として創設されたが、補助率等については、従前の防災・安全交付金による補助と変わらない。



電柱のある道路



電柱のない道路

### 名誉市民小林ハルさん生誕120周年

**Q** 映画「替女GOZE」の感想と記念事業の開催、記念グッズなどについて問う。  
**A** 映画はまだ見ていない。記念事業は延期し現在調整中。記念グッズは検討したい。



小林ハルさん

### 工業流通団地

**Q** 第三次公募の状況、新型コロナウイルス感染症の影響について問う。  
**A** 申し込みはない。今後は一般財団法人日本立地センターと連携し早期の完売を目指す。現在内定辞退はないが、売買契約後の支払いなどに配慮したい。

### 新型コロナウイルス感染症に対する今後の対応策について

**Q** 新型コロナウイルス感染症も全国に飛び火し、県央地域においても油断できない状況である。PCR検査の費用の一部負担を考へてはどうか。  
**A** 地域経済を回復軌道に乗せていくため、市内事業者のうち県外へ出張や県外からの来訪者に対応する従業員等が受ける民間検査機関の行うPCR検査について、費用の一部を負担する制度を今回創設し、本定例会に追加議案として提出する。

### 里山を含めた保内公園の魅力について

**Q** 保内三王山古墳群の散策路が整備され、観光スポットが増えた。保内公園には緑の相談所、熱帯植物園、四季の植物がみられる散策コースなどがある。里山を含めた保内公園の魅力を市民に紹介すべきではないか。  
**A** 保内地域にはオーブンガーデン、道の駅など魅力的な拠点が混在している。里山を観光資源とするとともに、造園業の歴史と里山の関係性に

### 農業機械等導入補助金

**Q** 今年度の状況と今後の取り組みについて問う。  
**A** 予算1000万円に対し申請は40件約3300万円。評価項目により12件99.5万円を交付決定、二次配分は考えていない。効果を検証し必要に応じ見直しを行う。

### 学校給食調理場の業務委託

**Q** 1社に委託となるリスクはないのか。  
**A** 厳正な審査の上で業者選定しておりリスクはない。

### 三条市立大学開学まであと半年

**Q** 感染症拡大で受験勉強が不十分であること、感染リスクの高い都市部を避ける傾向にあることなどを背景に「地元志向の高まり」との予測がある。どう対応するのか  
**A** 訪問先の各高校でも地元志向が高まっているとの話を聞く。特に県内から多くの優秀な受験生を確保するため、本大学が目標とするレベルの学力層の存在する県内高校に重点的に周知広報活動に取り組んでいる。



保内公園と里山

### 産後うつについて

**Q** 子育て支援は妊娠、産後ケアからの支援に広がっている。産後うつについてどのように考えているか。

**A** 今には赤ちゃん訪問事業、養育支援訪問事業などを通じ、産後の母親と子どもへの支援を行ってきた。今後、産後ケア事業に係る国のガイドラインを踏まえつつ、必要な取り組みを行っていく。